

# 中国製タイヤ販売拡大

山本急行

## 国産と品質変わらず安価

【岐阜】山本急行（山本英史社長、岐阜県恵那市）

ツップクラスを誇る。

は2024年、中国製タイヤの販売事業を拡大していく。国産タイヤの値上げが続く中、安価で品質も国産と変わらない中国製の需要を見込み、同業他社への営業活動を強化する。

同社の物流サービス関連事業部が扱う「チャオヤン」タイヤは、中国のタイヤメーカー「ZCラバー」のブランドで、東南アジア、北米、南米、ヨーロッパなど世界各国で販売されている。ZCラバーは、特にトラック・バス用タイヤの生産・販的能力で世界ト

て2年前に販売事業をスタートさせ、中部エリアの運送会社などのユーザーを拡大してきた。山本社長は「原材料高騰で国産タイヤの価格が上がり、トラック事業者としてコスト増加を感じている。安価で品質も国産と変わらない中国製の需要は増えるだろう」と期待する。

トラック用タイヤで1本当たり1万円、国産より安い。山本急行の4軸低床トラックの場合、全部で12本のタイヤを使うため、中国製に入れ替えてトータル12万円のコスト削減になった。23年は自社使用分も含め千本の中国製タイヤを扱ったが、今年は倍の2千本を販売目標として掲げている。

山本氏は「フェイスブックやインスタグラムでもPRをしているが、特に地元の同業者をターゲットに営業を強化したい。タイヤコスト削減を各社の経営の安定につなげてほしい」と話している。

供について協力を要請。また、12月1日に青森県で発生したタイヤ脱落に起因する死亡事故を取り上げ、増し締めを徹底するよう求めた。

（原田洋一）

中国製タイヤについて説明する山本社長



供について協力を要請。また、12月1日に青森県で発生したタイヤ脱落に起因する死亡事故を取り上げ、増し締めを徹底するよう求めた。

（星野誠）